

薪火レストランがみんなの工場内に2025年春オープン予定 食と空間の感動体験を創造するレストランです

株式会社シロは、建物をつくる木材、料理の素材、調理する燃料までも、北海道産の貴重な資源を余すことなくすべて使いきり、お客様へ自然の豊かさを提供します。



薪火レストランの外観（イメージ図）

北海道砂川市の「みんなの工場」は世界中から多くの人が集まり誰もが感動体験を持ち帰ることのできる場所をコンセプトに2021年より、みんなのすながわプロジェクトで市民のみなさんとプロジェクトにご興味をもってくださった方々とともに、2023年4月にオープンしました。この度、「薪火レストラン」は、「みんなの工場」とともに構想していたプロジェクトのひとつとなり、満を持して2025年春のオープンに向け、本格的に始動します。

また、「みんなの工場」はオープンして、約1年あまりが過ぎ、おかげさまで昨年は30万人のお客様が来場、そのうち約25%が道外から訪れてくださり、これまでにない人流を生み出しました。

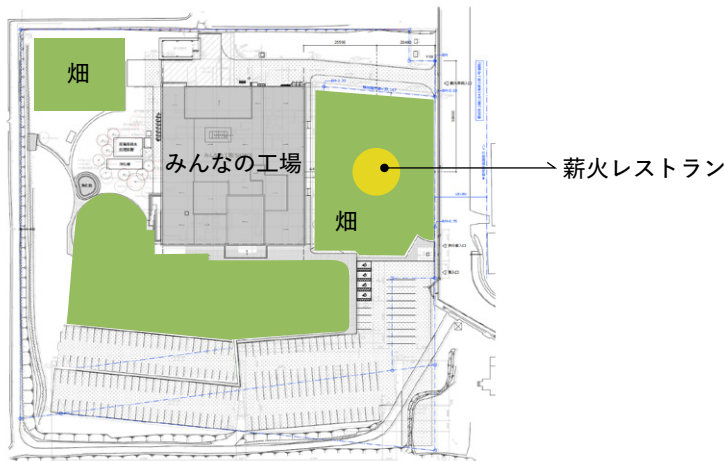
2024年7月、同施設の東隣の現駐車場部に薪火レストランを新築いたします。円錐形の屋根がシンボリックなレストランは、「あたらしい“えん”がつくられること」を目指しています。これまで出会うことのなかった人々がここで出会い、石でできた薪火台を中心に輪になって同じ薪火でつくられたお料理を同じ時間に食べる一体感の“縁”。自然の循環を象徴する円形の建物の“円”。2つの“えん”が重なったレストランです。

内装は料理をつくる人と食べる人が分け隔てなく、一体になるよう設計。円錐屋根の天井は高く、炎や煙の上昇をやわらかく包み込みます。建物に使う木材は北海道の木こりさんと一緒に山に入って選んだ道産木材を構造材にも仕上げ材にも余すことなく使用します。屋根の内側は木材で放射状に組まれ、木々に包まれた空間は、天窗から光が差し、窓から風が通り抜け、まるで森の中でくつろぎながら焚き火をしているかのようです。

敷地内のお庭にはお料理に使う野菜や果物、ハーブなどの食材を、すぐに収穫し、その場で調理ができるよう、畑をつくり育てます。また、道内でお料理に使う素材を絶えず探し続け、このレストランでしか味わうことができないメニューを提供いたします。

このように、食と空間の2つを掛け合わせ、北海道へ旅にいらっしゃったお客様に季節に寄り添った感動体験を持ち帰っていただくレストランを目指します。人々が絶え間ない笑顔で大きなテーブルを囲み、薪火で調理した美味しい料理を味わいながら、新たな出会いとその後の縁が、紡がれていくような機会を創出したいと願っています。

施設配置図



みんなの工場の東側に薪火レストランを建設予定。みんなの工場が四角い建物であるのに対し、薪火レストランはシンボリックな円錐形の屋根に円形の建物です。

工場とレストランの周りがある畑で季節の野菜やエディブルフラワー、ハーブなどを育て、その日、畑から収穫した新鮮な野菜やハーブを道産の新鮮な肉や魚とともに薪火で調理し、お客様へ提供いたします。

内観イメージ



この日この場所でしか出会えない人たちが集まり、重厚感ある石の大テーブルを囲みます。素材と薪火の香りが混じり合いさらにハーブなどのフレッシュな香りも加わり、味わったことのない豊かなメニューを味わえる一期一会の空間です。

円錐状に組まれた屋根を頭上に見ながら、目の前で薪が燃える火を視覚で、音を聴覚で体感できます。さらに香りは嗅覚、味は味覚と触覚で。心地良い特別な空間で五感を刺激しながら、新鮮な食材のメニューを心ゆくまでご堪能いただけます。

建築家



鈴木 理 (すずき まこと)

1968年、北海道札幌市生まれ。北海道大学大学院建築工学科を修了し、東京の設計事務所で9年間修業。2003年に鈴木理アトリエを設立。2016年、自宅兼アトリエとなる「ときわの家」で日本建築家協会北海道建築大賞を受賞。北海道産木材を活用し、居心地よく本質的で時代に流されないデザインを心がけています。

設計のお話をいただいて最初に思い描いたことは、シロのレストランに来た見知らぬゲスト同士が薪火を囲み、料理を楽しみながらゆったりと過ごすための、おらかな器のような建築でした。輪になって火を囲む。このイメージを元につくったのは、円錐形の屋根の下、薪火台を中心に据えた円形のプラン。構造材にも仕上げ材にも北海道産の木材をふんだんに使用し、森の息づかいを感じられるようにしました。「円」を表現した建築には、持続可能な循環型の未来を見据えるシロの理念もリンクさせています。



薪火レストランの外観 奥にはみんなの工場（イメージ図）

施設概要

(2024年7月時点)

施設名称	薪火レストラン（仮称）
所在地	砂川市豊沼 54-1（SHIRO みんなの工場敷地内）
敷地面積	1850.26 m ²
建築面積	188.04 m ²
延床面積	188.04 m ²
施設概要	レストラン
着工	2024年7月末予定
竣工	2025年2月予定
オープン	2025年4月予定
構造	木造、平屋
総事業費	約2億円（2024年6月見込み）
施主／運営会社	株式会社シロ

プレス写真はQRコードにアクセスいただき、ダウンロードができます。

<https://works.do/xPj28uv>



SHIROについて

「自分たちが毎日使いたいものをつくる」というシンプルな想いからスタートしたコスメティックブランド。

自社内に開発から販売まですべての機能を持ち、創業当初からエシカルな信念に基づくものづくりを続けている。

厳しい自然が育んだ素材を国内外から見つけ出し、そのちからを最大限に引き出すスキンケア、メイクアップ、フレグランスアイテムを提案。

日本全国に直営店舗を展開するほか、ロンドンや台湾に実店舗を構え、米国では自社EC、中国では越境ECでの販売を行う。

製品に使う素材同様、厳選した食材を届ける食のセレクト [SHIRO LIFE]、素材のおいしさを料理で伝えるカフェ [SHIRO CAFE]、SHIRO が提案する美しさを最大限体感できるサロン [SHIRO BEAUTY] などの業態も展開。

2021年6月から、SHIROの創業地である北海道砂川市にて、工場の移転新設と市全体の活性化を目指すまちづくり

「みんなのすながわプロジェクト」を推進。2023年4月に新工場と付帯施設を含む「みんなの工場」をオープン。

オープンから1年間の来場者数は約30万名、そのうち25%は北海道外からの来場者が占めた。

2024年4月、従来とは異なる、森林環境に配慮した“森の都合に合わせた設計建築”を進め、一棟貸しの宿泊施設「MAISON SHIRO (メゾンシロ)」を北海道長沼町にオープン。

ブランド誕生から15周年を迎える2024年には、ものづくりとお店づくりの2つにおいて、すべての資源の価値を見つめ直す「SHIRO 15年目の宣言」を表明し、地球の未来のために廃棄物ゼロを目指すことに取り組む。

会社概要

企業名 : 株式会社シロ

所在地 : 〒107-0061 東京都港区北青山 3-6-7 青山パラシオタワー 8F

設立 : 1989年10月23日

代表取締役 : 福永 敬弘 (ふくなが たかひろ)

事業内容 : 自社ブランド「SHIRO」の企画、開発、製造、販売、
店舗運営 (「SHIRO / 化粧品、雑貨」「SHIRO LIFE / 食物販」「SHIRO CAFE / 飲食」
「SHIRO BEAUTY / サロン」)、SHIRO オフィシャルサイト / オンラインストアの運営、通販事業運営、
直営ホテルの運営 (「MAISON SHIRO」「砂川パークホテル」)、
北欧インテリア雑貨の輸入、販売代理 (「biotope」)

URL : <https://shiro-shiro.jp>

お問い合わせ先

シロ カスタマーサポート

E-mail: info@shiro-shiro.jp